

ISIL ラッカ州発動画「ベンガルにおけるカリフ国の騎士たちへ」

7月5日、ISIL ラッカ州は、バングラデシュ人戦闘員のメッセージを主な内容とした動画「ベンガルにおけるカリフ国の騎士たちへ」を発出。同動画にはバングラデシュ人と思しき3人が出演。ベンガル語及び英語で、①バングラデシュ政府の正当性の否定、②ダッカでのカフェ襲撃事件のような「ジハード」は今後も継続する、③ダッカでの攻撃は「十字軍」による空爆への報復であるとした上で、④バングラデシュでのジハードを支援するよう呼びかけている。発言概要は以下のとおり。

1. 最初の発言者（アブー・イーサ・アル・ベンガーリー）



ベンガル語で、バングラデシュ政府は人定法に基づく多神教的手法である民主主義に則り選出されているため支持すべきではなく、今やカリフ国の下で戦われているジハードをバングラデシュの統治者は止めることはできない旨発言。続いて英語で、十字軍とその同盟者向けメッセージであるとして、アドナーニー-ISIL 広報官の（テロを奨励する）呼びかけは冗談ではなく、我々は戦って勝利するか殉教するかであるため敗北はなく、昨日バングラデシュで起こったことはほんの一部に過ぎず今後も繰り返される旨発言。

2. 二番目の発言者（アブー・バラール・アル・ベンガーリー）



ベンガル語で、ダッカのレストランが襲われた理由について、イスラム

共同体は一つの体であり，十字軍がイラク，シリア及びリビアでの空爆で女性や子供を殺害していることが，ムジャーヒディーン（聖戦士）による報復を動機づけるのである旨発言。

3. 最後の発言者（アブー・ハーリド・アル・ベンガーリー）



ベンガル語で，バングラデシュで実施された前例のない作戦を賞賛し，「兄弟たち」に向けて，かつて我々はアフガニスタンでのジハードを望んだものだが，今やジハードは故郷の戸口まで来ているとして，カリフ国の指揮の下，ムジャーヒディーン（聖戦士）の兄弟を支援するよう呼びかけている。